

1 目的

- 医師確保計画において、全国一律の医師偏在指標により、東京は二次保健医療圏単位では3つの医師少数区域があるが、全体では医師多数区域
- 一方で、東京には多くの医育機関があり、育成した人材を全国へ輩出する等、他道府県にはない特徴があるが、全国一律の算定式では東京の特性が十分に評価されていない。

⇒ 東京の特徴を捉えた医師の偏在状況を明らかにし、地域の特性に合った医師確保策の充実を図る。

2 医師確保基礎調査について

- 全国への医師派遣等の実態、診療科別の医師数や地域ごとの医師数等を詳細に調査
- 地域医療構想アドバイザーと協働しながら調査項目を検討、調査実施、結果分析
- 新型コロナウイルス感染症への医療機関の対応を考慮し、負担の少ない形での調査を検討

スケジュール（案）

